

グランプリ

誰もが利用できるマンホールトイレに向けて

岐阜県恵那市



～マンホールトイレを知ってもらうために～

日本大正村クロスカントリー大会※でマンホールトイレの利用体験を実施しています！

※恵那市明智町内の広大な自然と大正ロマンただよ町並みを駆け抜けるクロスカントリー大会。

課題

- ・避難所にマンホールトイレを設置したものの、住民に運用のノウハウがない。
- ・市の防災訓練でトイレを設置しても利用者が少ない。



解決策

- ・市のイベントであるクロスカントリー大会で利用してもらうことで、マンホールトイレを広く周知できる。



クロスカントリー大会における使用状況

PRポイント!

恵那市では、防災対策として、避難所に指定されている市内の小中学校に、災害用マンホールトイレの整備を進めています。

今回の取組では、マンホールトイレをより多くの方に知ってもらい、マンホールトイレを通じて防災に関する意識を高めてもらうことを目的に、市のイベントである日本大正村クロスカントリーで、マンホールトイレ体験会を実施しています。利用者にはアンケート調査を行い、結果を検証、毎年ブラッシュアップすることで年々多くの方に、マンホールトイレを使用いただいております。

また、実際の災害時には、地域住民にマンホールトイレを設置してもらう必要があり、使い方とともに、設置してみることも大切な体験だと考えており、防災学習会や市総合防災訓練では、設置体験を行っています。

今後も、継続的に実施していき、万一の災害時に備え、地域防災力の強化につなげていきます。

防災学習会、市総合防災訓練

小学校の防災学習会や市総合防災訓練では、マンホールトイレの設置体験を行いました。設置から使用までを児童や市民の方と一緒に実施することで、マンホールトイレをより身近に感じてもらうことができました。



PDCAによるフラッシュアップを実施

A:【アンケート調査の活用】

アンケート調査結果を次期に反映。

例)臭いが気になる。
→ひしゃくを追加し、洗浄水を水から石鹸水に変更



P:【マンホールトイレ体験会の計画】

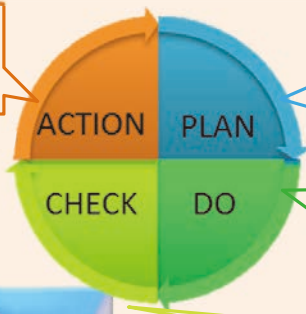
マンホールトイレをPRするために、市のイベントで利用してもらう。

D:【マンホールトイレ体験会の実施】

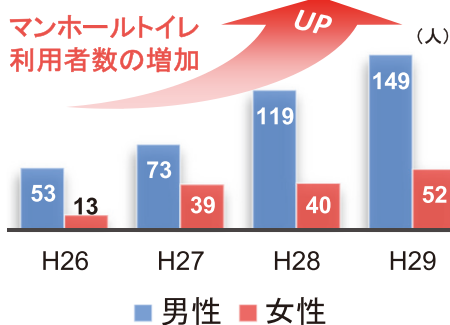
日本大正村クロスカンツリーで、参加者がマンホールトイレを使用。

C:【マンホールトイレ体験会の検証】

利用者にアンケート調査を実施し、改善点を把握。



取組の効果!



恵那市のキャラクター
エーナちゃん



地域のマンホールトイレを利用することは良いことだと思う！
子どもにも利用させたいな。

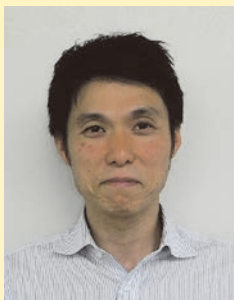
利用者の声

仮設トイレだと一段登る必要があるけれど、バリアフリーになっているから使いやすいね！

恵那市の防災キャラクター
マモリュウ君



Key Person



上下水道課
伊藤 輝彦

日本大正村クロスカンツリーでは、誰もが快適に利用できるよう、利用後にアンケート調査を行っており、利用して初めて見えてくる課題も多いことが分かりました。また、利用者の携帯電話が便槽内に落下する事故が発生し、次回大会では、回収する道具を準備したり、注意喚起の看板を設置する等の対応を行いました。

また、学校での設置体験では、子どもたちが、積極的な姿勢で取り組んでいて、興味関心を持ってもらえました。

マンホールトイレを知っていただけることが防災について考えることにつながると思いますので、今後もマンホールトイレの利用体験や普及活動を行っていきます。